

さくら新聞

社会福祉法人
清風会
特別養護
老人ホーム
東かなまち桜園
〒125-0041
東京都葛飾区
東金町
2丁目13番10号
03-5876-5281

2024年
2月1日
第104号



スタッフ紹介



今回は 5階緑ユニット
土屋 沙紀介護職員を紹介します。

主任の眼



早いもので、新しい年もすでにひと月が経ってしまいました。こんにちは、山田です。年々時間の過ぎる感覚が短くなるような気もしますが、桜園は四月が節目となる施設です。十一年前に初めて入居者様をお迎えした時の気持ちを忘れずに、今出来る事をコツコツとやっていきたいと思っています。

年明けから連日報道等で地震被害の情報が入ってきています。能登半島地震により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げますとともに、皆様の安全と一日も早い復興をお祈り申し上げます。

改めて思う事は「普段の暮らしを当たり前のように継続する事」の難しさです。

ユニットケアの目指すものは「介護が必要になってもごく普通の暮らしを送る事」です。その為に様々な技術や知識を使用し、入居者様・利用者様それぞれ一人ひとりの「普通の暮らし」が実現出来るよう、日々支援を行っています。

考えれば考える程「ごく普通の暮らし」の難しさにぶつかるとは毎日でもあります。一人ひとり違う人生を送ってこられた以上、何を大切にしていくか、何が実現したら「自分らしい」と思うかは暮らしの人数だけあるのだなあと気づきます。地震被害に合われた方々にも、早く「ごく普通の暮らし」が当たり前になる日が訪れて欲しいと切に願います。(山田)



お正月はおせち料理を召し上がり、一階で初詣を行いました。「今年もよろしく願います」と職員、他の入居者様に新年の挨拶をしていました。



誕生日会の様子。職員の手作りケーキが好評でした。



【伊藤】

- ◇お忙しい中、質問に答えて頂き、ありがとうございました。
- ◎ 最近楽しかった事、嬉しかった事は何ですか？
- ◎ 仕事が出来ようになった事、スタッフと話している時。
- ◎ 座右の銘を教えてください。
- ◎ 意外と何とかなる。
- ◎ 好きな食べ物や飲み物を教えてください。
- ◎ 酸っぱい物、水、お茶。
- ◎ 尊敬している人はいますか？
- ◎ 自分の家かのようにテキパキ働いている人みんな。
- ◎ マイブームはありますか？
- ◎ 仕事が欲しい。
- ◎ 飲みに行く、出掛ける。
- ◎ お休みの日は何をしていますか？
- ◎ 誰かと喋る。
- ◎ とっておきのリラックス方法は？
- ◎ 頼れる存在になりたいと思っています。
- ◎ 仕事の疲れを癒すのは？
- ◎ 飲みに行く。

先月のご馳走

(元旦・おせち料理)



お正月前より、「おせち料理楽しみね。」との声も聞かれ、当日は、「豪華だね。正月気分を味わえた。」と喜んで頂けました。

今年も各ユニットで盛り付けコンテストを実施。入居者様と一緒に盛り付けを行ったユニットもありました。
(栄養士・日下)

ケアマネ便り

二月になりました。今月もコロナウイルスやインフルエンザがはやっていきますので継続的な感染対策に努めていく必要があります。桜園でも入居者様の居室の室温管理や喚起、また衣類の調整に配慮しています。

さて、二月といえば「節分」と「恵方巻き」ですね。邪をはらい、福を願う豆まきは入居者様にとっても毎年楽しみにしている行事です。また、節分ならではの食べ物「恵方巻き」の具は色々ですが基本は七種でこれは七神にちなんだといういわれがあるそうです。桜園でも入居者様に美味しく食べて頂きました。
(介護支援専門員・滝澤)

おせち料理・初詣



ユニット毎オリジナル盛り付けになっています。



一月一日の昼食時に提供するおせち料理は入居者様から毎年喜ばれています。一階のロビーに設置している獅子舞・鳥居は職員の手作りです。おみくじも好評でした。
(田尻)

機能訓練指導員より

一月にも中学生の職場体験の受け入れがありました。男子中学生が二名来たのですが、「学校ではあまりできないことを経験できると思って老人ホームを選びました」と、希望した理由を話してくれました。今回も中学生には車いすに乗って施設内を移動してもらい、車いすを使用する生活がどのようなものになるのか、考えてもらいました。中学生とやりとりをしながら、学校には車いすで登校し、授業を受けられる体制が整っているのだろうか、ふと疑問がわきました。公共施設におけるバリアフリーの現状について、中学生と考える貴重な時間となりました。職場体験を受け入れ、中学生と対話することで、社会的な課題について、多様な人と一緒に考えることの大切さを私も学ぶことができました。
(機能訓練指導員・伊藤)

相談員より

二月に入りましたが、まだ寒い日も多く皆様方におかれましては、引き続き体調管理に努めていただければと思います。

さて、今年も年明け早々から大きな地震が発生するなど不安な始まりでした。能登半島地震では、未だに多くの人々が避難生活を余儀なくされていることを思うと、一日でも早い復興を願うばかりであります。私も一三年前の東日本大震災の時には、人生で始めて経験する衝撃を受けたこと、つい最近のように思い返されます。今ではその時の経験もあり意識も高まっています。やはり人とのつながりの大事さも強く感じます。自分の身内だけでなく、友人や知人、近所の人との関わりなど、普段から声をかけたり気にかけていたりする関係を作っておくことも、身を守るために大切なことだと改めて感じさせられました。
(相談員・三薺)

編集後記

二〇二四年の幕開けは、能登半島の地震のニュースが驚きでした。被災された皆様にお見舞い申し上げます。桜園のショートステイの皆様はそれぞれのお正月を迎えられましたでしょうか？年越しにご宿泊をし、おみくじをひき、昼食にはおせち料理をご堪能されておりました。お刺身が美味しかったと、ご感想頂きました。
(細谷)

